

令和3年度 学校経営計画書（定時制）

学校番号	46	学校名	静岡県立藤枝東高等学校	校長名	山田 淳一郎
------	----	-----	-------------	-----	--------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

校訓「至誠一貫」

- ア 多様な学習歴や入学動機を持つ生徒一人ひとりを大切にし、わかる喜びや学ぶ楽しさを通して、生涯学習の基礎を培い、自立し、逞しく生きる人間を育成する。
- イ 地域に根ざした教育活動の充実を図り、望ましい勤労観や職業観を養い、社会の一員として自信と自覚が持てる人間の育成とともに、保護者や地域から信頼される学校づくりを推進する。

(2) 目標具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣の確立と生徒一人ひとりが、自己肯定感を持って学校生活を送ることができるよう指導する。
- イ 生徒一人ひとりの理解度に応じた「わかる授業」の推進により、基礎学力の一層の定着を図る。
- ウ 進路目標の実現に向け、地域の人材等を活用し、望ましい勤労観や職業観を身に付けさせる。
- エ 様々な教育活動を通じ、思いやりや優しさ、逞しい心などを涵養し、社会の一員として信頼される人を育てる。
- オ 教育環境の整備充実及び安心で安全な学校づくりを進める。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

No.	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
(1)	基本的な生活習慣の確立と自律心の涵養を図る。	個人面談等を通して生徒の実態を把握し、カウンセリングマインドを持って接することで、自己肯定感を持って前向きな学校生活を送ることができるようにする。	面接週間以外にも随時面談を行う。	教務 生徒 保健
		各授業での具体的な方策を通して、欠席、遅刻、早退をせず、時間を大切にすることを育てる。	授業の遅刻・早退数の前年度50%減	
		登下校指導や交通安全教室、原付グッドマナー講習会などを通じて安全意識を高める。	交通事故、特に通学時の交通事故の前年比50%減。	
		薬学講座や食事会などを通じ、健康や命の大切さについて考えさせる。また、検温・マスク・健康管理等の感染症予防を徹底する。	「保健だより」を年5回以上発行する。 自律的に感染症予防に取り組む姿勢が身につく。	
(2)	学ぶ意欲を高め、基礎学力等の定着を図る。	生徒一人ひとりの理解度を把握し、発表や質問等を大切にする授業を行う。	アンケートで、「授業がわかる」と回答する生徒80%以上。	教務 教科
		ICT機器の活用、教材の工夫等により、主体的な取組を促すとともに、授業を大切にする姿勢を高める。	ICTを活用した授業を学期に1回以上を目途に実施する。	
		校内研修や教科研究会等の機会を有効に活用し、授業改善を一層推進する。	年間3回以上の研修会、研究会の実施。	
		基礎学力テスト（漢字、計算、英語等）を定期的実施し、基礎学力の向上を図る。	漢字・計算・英語基礎テスト等を計画的に実施する。 成績優秀者について表彰を行う。	

(3)	進路実現に資する望ましい勤労観・職業観を育成する。	進路講演会やインターンシップ、地域人材を活用した行事などを通して、学びと働くことの重要性を再確認させる。	進路講演会、企業講師進路説明会を有効に実施する。	教務
		総合的な探究の時間等を活用し、自らの在り方、生き方を考えさせる。	個々の生徒が、進路目標に応じた就職活動等、目標実現に向けた取り組みを行う。	
(4)	多様な人々との協働を通して、社会性（コミュニケーション能力）の向上を図る。	生徒が主体的に取り組むホームルーム活動や学校行事を工夫し、生徒会活動の活性化とともに、生徒の参加率を高める。	授業、行事ごとに、振り返りシートを作成し、満足度の向上を目指すとともに、改善点を整理する。	生徒
		生活体験発表を通して自己を客観的に見つめるとともに、自分の考え方や思いを伝える力を養う。	各行事の参加率 80%以上、満足度 80%以上 各行事の事前・事後指導を含め、適切に実施することで、生徒の成長がみられる。 アンケートで「人間関係が良い」と回答する生徒 80%以上。	
		演劇鑑賞会、お話の会、食事会等の魅力ある行事を企画し、文化・芸術活動に親しむとともに、生徒が積極的に他者と関わることができるよう指導する。	アンケートで「人間関係が良い」と回答する生徒 80%以上。	
		個人情報の取扱い、スマートフォン等の使用のあり方を含め、様々な場面で人権教育に取り組む。	スマートフォンの適切な使い方が浸透していく。職員室入室マナー等が向上する。	
(5)	より良い学習環境の整備充実及び安心安全で生き生きと活動できる学校づくりを推進する。	夜間であることを意識した防災訓練、防災設備の点検・補充、通学路における危険箇所チェックを行う。	火災、地震を想定した防災訓練を実施する。 地域防災訓練等への参加者数が増加する。	教務 保健 相談 事務
		ゴミの分別、美化活動を推進し、学習環境の整備を心掛けさせる。	教室や廊下等施設が清潔に保たれる。	
		相談室の整備を含め、効果的な活用と相談体制を確立する。	スクールカウンセラーを継続配置し、活用する。 相談室の整備・活用を図る。	
		情報管理システム及び組織体制の確立を進める。	個人情報の取扱い等に関する不祥事ゼロ。	
		無駄のない、適正な予算執行により、施設・設備、備品・消耗品等の整備を確実に進行。	不備・未実施等ゼロ。	
		出席状況の報告、ミニミニ通信の配布等を通して、生徒の学習状況、教育活動の内容等を的確に情報発信する。	年間 10 回程度、ミニミニ通信を発行する。 アンケートで「通信などを読んでいる」と回答する保護者 80%以上。	